

取組・評価書（住宅以外の用途）

第1 環境への配慮のための措置及びその取組状況

分野	1 エネルギー使用の合理化		
区分	(1) 建築物の熱負荷の低減		
細区分	ア 建築物外皮の熱負荷抑制		
	取組状況		取組状況の評価
(ア) BPIの計算方法[]		適合状況	段階
(イ) a BPI[]			3
b PAL*の設計値[MJ/m ² ・年]			2
c PAL*の基準値[MJ/m ² ・年]			1
(ウ) 外壁の熱貫流率[W/m ² ・K]			
(エ) 屋根の熱貫流率[W/m ² ・K]			
(オ) 開口部の熱貫流率[W/m ² ・K]			
(カ) 窓の日射熱取得率(η)[]			
区分	(2) 再生可能エネルギーの利用		
細区分	ア 再生可能エネルギーの直接利用		
	取組状況		取組状況の評価
(小・中・高校以外の用途)		適合状況	段階
(ア) 採光利用システムに係る事項[]			3
(イ) 通風利用システムに係る事項[]			2
(ウ) 地中熱利用システムに係る事項[]			1
(エ) その他のシステムに係る事項[]			
(オ) 再生可能エネルギーの直接利用量の合計 [MJ/m ² ・年]			
(小、中、高校用途)			
(カ) 全教室数[室]			
(キ) 窓が2方向以上に面している教室数[室]			
採光を満たす教室の割合[%]			
(ク) 換気口又は窓が2方向以上に面している教室数[室]			
通風を満たす教室の割合[%]			
細区分	イ 再生可能エネルギーの変換利用		
	取組状況		取組状況の評価
(ア) 太陽光発電設備（定格出力）[kW]		適合状況	段階
(イ) 太陽熱利用（定格出力）[kW]			3
(ウ) 地中熱利用（定格出力）[kW]			2
(エ) その他の設備（定格出力）[kW]			1
その他の設備の詳細[]			
(オ) 再生可能エネルギー設備の定格出力の合計容量[kW]			
細区分	ウ 再生可能エネルギー電気の受入れ		
	取組状況		取組状況の評価
(ア) CO ₂ 排出係数等 [0.37kg-CO ₂ 以下・全事業者の平均値以下かつ0.37kg-CO ₂ を超える・全事業者の平均値を超える]		適合状況	段階
			3
			2
(イ) 再生可能エネルギー利用率[30%以上・20%以上30%未満・20%未満]			1
区分	(3) 省エネルギーシステム		
細区分	ア 設備システムの高効率化		
	取組状況		取組状況の評価
(ア) 非住宅用途BEIの計算方法[]		適合状況	段階
(イ) a 非住宅用BEI []			3
b 設計一次エネルギー消費量[GJ/年]			2
c 基準一次エネルギー消費量[GJ/年]			1
(ウ) ZEBに係る事項[]			
(エ) a 設備別の一次エネルギー消費量の状況			

空調[]換気[]照明[]	給湯[]昇降機[]その他[]
b 設備別設計一次エネルギー消費量	
空調[GJ/年]	換気[GJ/年]
照明[GJ/年]	給湯[GJ/年]
昇降機[GJ/年]	その他[GJ/年]
c 設備別基本一次エネルギー消費量	
空調[GJ/年]	換気[GJ/年]
照明[GJ/年]	給湯[GJ/年]
昇降機[GJ/年]	その他[GJ/年]
(オ) 熱源・熱源補機・熱搬送に係る事項[]	
(カ) 空調負荷の低減に係る事項[]	
(キ) 空気搬送動力の低減に係る事項[]	
(ク) 換気設備に係る事項[]	
(ケ) 照明制御に係る事項[]	
(コ) 昇降機設備の制御に係る事項[]	
(サ) 省エネ効果が高いと見込まれる未評価技術[]	
(シ) コージェネレーションシステム定格出力[kW]	
(ス) 蓄熱方式に係る事項[]	

区分	(4) 地域における省エネルギー
----	------------------

細区分	ア エネルギーの面的利用	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 対象となる建築物 [特定開発事業において延べ面積が1万㎡を超える建築物・地域冷暖房区域において住宅以外の用途の床面積の合計が1万㎡を超える建築物]		適合状況 段階
(イ) 地域冷暖房の熱の受入の有無[有・無]		3
(ウ) 地域冷暖房区域の名称[]		2
(エ) 地域エネルギー供給事業者から受け入れる熱のエネルギー効率の値 [] 熱供給媒体[蒸気を含む・蒸気を含まない]		1
(オ) 複数の建築物間での熱融通の有無[有・無]		
(カ) 複数の建築物間での空調排熱利用の有無[有・無]		
(キ) 複数の建築物間での空調排熱以外の有効利用を図ることが可能なエネルギー利用の有無[有・無]		

区分	(5) 効率的な運用の仕組み
----	----------------

細区分	ア 最適運用のための予測、計測、表示等	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) エネルギーの予測に係る事項 [計算プログラムを用いて、省エネシステム（未評価技術を含む。）又は運用実態を想定した詳細なエネルギーの予測が実施されていること]		適合状況 段階
点数[]		3
(イ) エネルギーの計測に係る事項 [最も大きい床面積を占める用途における電力量、ガス量、熱量の使用量が把握できる隔測メーターが設置されていること・主要な設備システムに関して、システム効率の評価を行うことができる隔測メーターが設置されていること・最も大きい床面積を占める用途の代表階又は代表エリアにおける電力量、熱量及び温度の把握ができる隔測メーターが設置されていること]		2
点数[]		1
(ウ) エネルギーの表示等に係る事項 [エネルギーの量の計測設備がデータ収集機能を有していること・エネルギーの量の計測設備がエネルギー消費分析及び管理機能を有していること・従業員や来場者等に対して当該建築物のエネルギー消費に関する情報が一目で分かるように可視化されて提供される仕組みが導入されていること]		
点数[]		

分野	2 資源の適正利用	
区分	(1) リサイクル材	
細区分	ア 躯体材料におけるリサイクル材の利用	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) グリーン購入法の特典調達品目 [高炉スラグ骨材・フェロニッケルスラグ骨材・銅スラグ骨材・電気炉酸化スラグ骨材・高炉セメント・フライアッシュセメント・製材]	適合状況	段階
		3
		2
(イ) 東京都環境物品等調達方針（公共工事）の特典品目 [電炉鋼材などのリサイクル鋼材・多摩産材等]		1
細区分	イ 躯体材料以外におけるリサイクル材の利用	
	取組状況	取組状況の評価
(1) グリーン購入法の特典調達品目 [] []	適合状況	段階
		3
(2) 東京都環境物品等調達方針（公共工事）の特典品目 [] []		2
		1
区分	(2) オゾン層の保護及び地球温暖化の抑制	
細区分	ア 断熱材用発泡剤	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 発泡剤を用いた断熱材等の使用の有無[有・無]	適合状況	段階
(イ) オゾン破壊係数[]		3
(ウ) 地球温暖化係数[]		2
		1
細区分	イ 空気調和設備用冷媒	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) オゾン破壊係数[]	適合状況	段階
		3
(イ) 地球温暖化係数[]		2
		1
区分	(3) 長寿命化等	
細区分	ア 維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 躯体以外の劣化対策に係る事項 [外部仕上げにおいて、耐用年数の長い材料が採用されていること・屋外露出の保温外装材において、耐用年数の長い材料が採用されていること] 点数[]	適合状況	段階
		3
		2
		1
(イ) 大型機器等の搬出入に係る事項 [大型機器の搬出入経路や揚重方法が明記された更新計画が作成されていること・構造部材や仕上げ材を痛めることがないように、大型機器の搬出入経路が確保されていること・大型機器や長尺配管の搬出入のために、昇降機のかご寸法が計画されていること] 点数[]		
(ウ) その他に係る事項 [天井解体等の道連れ工事を最小限とする措置が講じられていること・配管更新や将来対応のために、主な設備機械室からパイプシャフトまでの経路において、配管トレンチや配管ピット・点検歩廊等が設けられていること・配管更新や将来対応のために、床を貫通する予備スリーブが確保されていること又は更新のための空間が確保され、はつり工事を軽減する措置が講じられていること・変更（テナント工事、改修工事等）の際に廃棄物を減らす取組が導入されていること] 点数[]		

細区分	イ 躯体の劣化対策	
	取組状況	取組状況の評価
a 木造	[評価方法基準第5 3-1 (3) イ①bの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) イ①eの基準に適合している]	適合状況
		段階
		3
b 鉄骨造	[評価方法基準第5 3-1 (3) ロ①aの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) ロ②aの基準に適合している]	2
		1
c 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	[評価方法基準第5 3-1 (3) ハ①a、b及びcの基準に適合している・評価方法基準第5 3-1 (3) ハ②の基準に適合している]	

細区分	ウ 建設資材の再使用対策等	
	取組状況	取組状況の評価
	[躯体と仕上げ材とが容易に分別可能となっている・内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれ取り外すことができる・再利用できるユニット部材を用いている・構造部材又はそのユニットが容易に分解でき、再利用できる]	適合状況
		段階
		3
		2
		1

区分	(4) 水循環	
	取組状況	取組状況の評価
	[雨水（浸透及び貯留は除く。）・再生水・循環利用水]	適合状況
		段階
		3
		2
		1

分野	3 自然環境の保全	
----	-----------	--

区分	(1) 水循環	
----	---------	--

細区分	ア 雨水浸透	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 雨水浸透量[m^3]		適合状況
(イ) 雨水浸透の能力[mm/h]		段階
		3
		2
		1

区分	(2) 緑化	
----	--------	--

細区分	ア 緑の量の確保	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 地上部の緑化面積[m^2]		適合状況
(イ) 建築物上の緑化面積[m^2]		段階
(ウ) 総緑化面積[m^2]		3
(エ) 敷地面積[m^2]		2
(オ) 総緑化面積の敷地面積に対する割合[%]		1

細区分	イ 高木等による緑化	
	取組状況	取組状況の評価
(ア) 建築物上における樹木の量の確保に係る事項		適合状況
a 樹木による緑化面積[m^2]		段階
b 建築物上樹木による割合[%]		3
c 点数[点]		2
(イ) 高木の植栽に係る事項		1
a 高木による緑化面積[m^2]		
b 高木による緑化面積の割合[%]		
c 5mを超える高木の有無[有・無]		
d 点数[点]		
(ウ) 既存の樹木の保全に係る事項		
a 既存樹木による緑化面積[m^2]		
b 幹周り1m以上の大怪木の保存の有無[有・無]		
c 点数[点]		

細区分	ウ 緑の質の確保		
取組状況		取組状況の評価	
[地域の生態系に悪影響を及ぼす外来種に関し、適切な対応を行っていること・自生種の保全に配慮した緑地づくりを行っていること・敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っていること・野生小動物の生息域の確保に配慮した緑地づくりを行っていること・建物利用者や地域住民が生物とふれあい自然に親しむことのできる環境や施設等を確保していること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

細区分	エ 植栽による良好な景観形成		
取組状況		取組状況の評価	
[植栽によって沿道に緑の連続性が確保され、植栽が良好な景観形成に寄与していること・隣接敷地や道路の既存樹木との調和やシンボル性に配慮した樹種を選定していること・公道に面した平面駐車場等の空地について、植栽又は水面の配置により良好な景観形成に寄与していること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

細区分	オ 緑地等の維持管理に必要な設備及び管理方針の設定		
取組状況		取組状況の評価	
[灌水設備を適正に配置していること・適正な土壌容量等の植栽基盤を確保していること・巡回監視、樹木剪定、草刈り等の年間工程が計画されていること・病虫害対策等について実施方針が設定されていること・生物モニタリング等及びその結果の緑地等の維持管理への反映が計画されていること]		適合状況	段階
			3
			2
			1

分野	4 ヒートアイランド現象の緩和
----	-----------------

区分	(1) ヒートアイランド現象の緩和
----	-------------------

細区分	ア 建築設備からの人工排熱対策		
取組状況		取組状況の評価	
(ア) 建築物外皮の熱負荷抑制の評価基準の段階[]		適合状況	段階
(イ) 再生可能エネルギーの直接利用の評価基準の段階[]			3
(ウ) 設備システムの高効率化の評価基準の段階[]			2
(エ) 各評価基準の段階の合計点[] 点			1

細区分	イ 敷地と建築物の被覆対策		
取組状況		取組状況の評価	
(ア) 緑地による対策面積(樹木、芝、草花)[] m ²		適合状況	段階
(イ) 蒸散効率の低い植栽による対策面積(セダム等)[] m ²			3
(ウ) 水面による対策面積[] m ²			2
(エ) 保水性被覆材による対策面積[] m ²			1
(オ) 高反射被覆材による対策面積[] m ²			
(カ) 再帰性建材による対策面積[] m ²			
(キ) 各対策評価面積の合計[] m ²			
(ク) 敷地面積[] m ²			
(ケ) 各対策評価面積の敷地面積に対する割合[] %			

細区分	ウ 風環境への配慮		
取組状況		取組状況の評価	
(ア) 夏の卓越風向[]		適合状況	段階
(イ) 夏の卓越風向に直交する見付面積[] m ²			3
(ウ) 夏の卓越風向に直交する最大敷地幅[] m			2
(エ) 容積率の限度の値[] %			1
(オ) 建蔽率の限度の値[] %			
(カ) 地上部分の平均階高[] m			
(キ) 基準高さ[] m			
(ク) 見付面積比[] %			

細区分	エ EV及びPHV用充電設備の設置		取組状況の評価	
	取組状況		適合状況	段階
(ア) 駐車台数	[台]			
(イ) 急速充電設備の台数	パブリック用充電設備	[台]		3
	プライベート用充電設備	[台]		2
(ウ) 普通充電設備の台数	パブリック用充電設備	[台]		1
	プライベート用充電設備	[台]		

- 備考 1 取組状況の欄中「[]」には該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
2 取組状況の評価に応じて該当する段階に○印を記載すること。
3 当該評価基準の適用がない場合は適合状況の欄に「適用しない」と記載し、別表第2に掲げる細区分に該当する措置について記載を省略する場合は「記載を省略する」と記載すること。

第2 環境への配慮のための措置の概要

- 備考 1 設計上の基本方針、維持管理計画、設計及び維持管理計画上の制約等、特に配慮した事項を記載すること。
2 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例の一部を改正する条例（令和4年東京都条例第141号）第1条による改正前の条例第17条の4の規定によるエネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値を設定すべき場
に限り、省エネルギーの性能の目標値及び措置を講じた結果を記載すること。